

協働指針記載事項の例

- 1 序論（策定の趣旨・定義等）
- 2 協働についての現状と課題
 - (1) 町の現状、課題（協働している事業・協働できる事業の認識）
 - (2) 住民・住民団体の現状、課題
 - (3) その他
- 3 協働についての基本的な考え方
 - (1) 協働の意義・基本理念
 - (2) 協働を進めるうえでの基本原則
 - (3) 協働の主体等
 - (4) 協働に関する活動領域・形態
 - (5) その他
- 4 協働の推進に向けて
 - (1) 協働を推進する上での役割
 - (2) 協働の原則・ルール
 - (3) 協働のシステムの確立
 - (4) 協働により期待される効果
 - (5) その他
- 5 今後に向けて
 - (1) 具体的な取り組み方
 - ・ 現行の協働の拡大・充実
 - ・ 新規協働事業の実施
 - ・ 住民・住民団体の支援体制、活動拠点の整備
 - ・ 全庁的推進体制の確立（行政の意識改革）
 - (2) その他
- 6 その他